

森アートセンターギャラリー エキジビション・ディレクター 中山三善さん



「フェルメールとレンブラント：17世紀オランダ黄金時代の巨匠たち展」

この展覧会ではフェルメールやレンブラントなど、17世紀オランダ絵画の巨匠たちが描いた作品、60点が展示されています。

ところで皆さんは、展覧会に行かれるときに何か目的、あるいはテーマを考えて行かれているでしょうか。

実はこの展覧会のとても重要なテーマ、それは「光」です。

フェルメールもレンブラントも「光」をどのように描くか、一生懸命に挑戦しています。

ぜひ、皆さんご自身の目で確認してみてください。



「フェルメールとレンブラント：17世紀オランダ黄金時代の巨匠たち展」は、六本木ヒルズ森タワー52階の「森アートセンターギャラリー」にて開催中です。

また、六本木ヒルズ各店では、キュートでカラフルなオランダのエッセンスをちりばめたコラボレーションメニュー&グッズを展開中。オランダの黄金時代を彩るアートへの感度を高めてくれます。

(2016.03.09)

日本初公開の《水差しを持つ女》《ベローナ》

17世紀、ネーデルラント連邦共和国、現在のオランダは海運業や金融業によって、後に「オランダ黄金時代」と呼ばれるほどの隆盛を誇りました。そしてそれは豊かな経済力を背景に、オランダで新しい芸術が花開いた時代でもありました。今回の「フェルメールとレンブラント：17世紀黄金時代の巨匠たち展」は、そんなオランダ黄金時代と当時活躍した画家たちを紹介する展覧会です。ニューヨーク・メトロポリタン美術館、ロンドン・ナショナル・ギャラリー、アムステルダム国立美術館を中心に個人蔵の作品も加え60点を一堂に展示します。

オランダ黄金時代を代表する画家といえば、ヨハネス・フェルメール（1632-1675）とレンブラント・ファン・レイン（1606-1669）。今回はこの2人をはじめとして、フランス・ハルス、ヤン・ステーン、ピーテル・デ・ホーホなど、オランダ黄金時代を彩った巨匠たちの作品を通して、当時の文化と人々の生活を現代に蘇らせます。

なかでもメトロポリタン美術館の傑作、フェルメールの《水差しを持つ女》と、レンブラントの《ベローナ》は日本初公開作品です。この貴重な機会をぜひお見逃しなく。

開催概要

- 期間：2016年1月14日（木）～3月31日（木）
- 時間：10:00～20:00 ※入館は閉館30分前まで
- 場所：森アートセンターギャラリー（六本木ヒルズ森タワー52階）
- 入場料：一般 ¥1,600、高校・大学生 ¥1,300、4歳～中学生 ¥600
- 主催：TBS、朝日新聞社、森アートセンター
- ▶ フェルメールとレンブラント：17世紀オランダ黄金時代の巨匠たち展

プロフィール



石橋財団ブリヂストン美術館 学芸員、東京ステーションギャラリー主任学芸員として、展覧会の企画・運営等を担当後、2002年に森ビル入社。2004年森アートセンターギャラリーの発足に伴い、同ギャラリー運営室長に就任。2012年より森アートセンターギャラリー エキジビション・ディレクターに就任。